

H29 千早小吹台小学校の教育を充実発展させるための提言について

※保護者の皆様より頂いた「本校の学校運営、教育活動についての全ての提言」についてお答えしたいと思っております。ご意見につきましては、誤字脱字は修正しておりますが、ほぼ原文通りの表現で記載させていただいております。

●音読発表会について

「せっかく父・母や祖父母が参加しやすい土日にあるので普通の参観にしてもよいと思います。」
→<ご提言に対して>

本校のめざす子供の姿として、「一人で自信を持って表現できる子」「生き生きと大きな声で表現できる子」「自分の思いを理由をつけながら臆せず伝え合おうとする子」「相手の思いを汲み取り、正しく聞こうとする子」「仲間とともに作りあげる子」と設定し、日頃の学習での成果を発揮する場として「音読発表会」を位置づけています。子供にとっては保護者の皆様に観ていただくということも表現の動機付けにもなっていますので、本校におけるこの行事は続けていきたいと思っています。ただ、PTA実行委員会では、「毎年同じような発表」というような反省点もいただいていますので、発表内容等については校内で改善点を検討しているところです。

●国際理解教育について

「学校の授業で、年1回でいいので「国際理解」をやってほしいです。」
→<ご提言に対して>

本校では、オーストラリアの小学校とのテレビ会議や毎週1回の外国語活動の授業でも国際理解教育の内容を扱っています。また、今年度、大阪府立長野高等学校の留学生との交流を行うなど、国際理解教育をカリキュラムの中に計画的に位置づけて実施しております。人権教育の観点からも、「同和問題」「障がい理解」「多文化共生・外国人」「平和」「男女平等教育」という内容で教育活動全体を通して計画的にすすめておりますが、実施している内容等について具体的なご要望などがございましたら、ご相談いただけたらと思います。

●バス通学について

「バス乗車の変更があったとき、バスカードを書かないでよいようにしてほしい。子供に乘るか乗らないか、どこで降りるかなど聞いて乗車させればよいと思う。子供の意識が向上するように思う。」
→<ご提言に対して>

いつも通学バス登下校にご協力ありがとうございます。ご指摘のようにできればよいのですが、カードを忘れた子供に聞いても、下校はバスに乗るのかわからない、学童に行くのかわからない、という場合があります。その場合保護者に電話で問い合わせるのですが、すぐに連絡が付かない場合もあり、下校時に間違えて乗ってしまったり、乗らなかつたりということが、もし起きると子供の安全に関わる重大な事態になりますので、下校に関することに関しましては慎重にさせていただきます。また、バス乗車時にも点呼を行って乗車したことを確認しております。ご理解とバスカードへのご協力をよろしく願いいたします。

●集金袋について

「集金袋での集金の額が多額なので、子供に持たせることに不安があります。そもそも年間で予算を組み立てて徴収することにはできないのですか。月々例えば1000円ずつ組み立てて、銀行で引き落とし、そこから学習費用にしてもらえませんか。3月末で余った分は口座に返金してもらおうと

か、中学校では銀行引き落としで余った分は卒業後口座に返金してくださっています。他市町の小学校の保護者の方に聞いても、集金袋は危険ではと、安全面を考えても銀行引き落としにしてほしいです。」

→<ご提言に対して>

現在は、JA 赤阪支店の口座から、給食費・学級費・積立金・PTA会費を学年に応じて1人あたり5100円～7200円引き落としさせていただいています。しかしながら、10日の振替日に口座の残高不足等で、引き落としできない件数がこの1月でも15件ありました。引き落としができないご家庭は、毎月10件～15件程度あり、そのご家庭には集金袋をお渡しして現金で持ってきてもらっています。

また、引き落とし金額に「教材費」や「校外学習費」も加えてはどうかということですが、引き落としができない場合に、教材業者や遠足費用の支払いができないというリスクを伴います。また、現在はありませんが、引き落としができず、現金でもその都度集金できずに、たとえば数ヶ月分の集金がそのまま積み上がってしまうということも過去にはありました。

給食費・学級費・積立金・PTA会費であれば、ある程度支払いを待つことができますが、各担任が学級で使用しているドリルや教材、校外学習費用等は、期日までに支払いができないと学校としては立て替えるお金もないのが現状です。

以前に、引き落としにできるかどうか赤阪小学校とも相談したことがありますが上記のような理由から本村の小学校では、教材費の現金徴収というシステムにさせていただいています。

●ホームページへの子供の写真の掲載について

「現在でも希望者には画像を加工する処置をとっていただいておりますが、他の地域の小学校のホームページをみても、そのまま掲載しているところはほとんどなく、後ろ姿や加工された状態になっているかと思えます。防犯面でも子供の安全について千早小吹台小学校は十分に配慮していますということを知らしめるためにも基本的に全部の写真を加工して掲載していただけたらと思えます。（もしくはパスワードとIDを保護者に配布する方式など）なんとなく不安に思いながらも我が子だけ加工を希望するのは…とってる方もいらっしゃるのではと思えます。年度当初ホームページ掲載のご案内の時にアンケートをとっていただけたらと思えます。ご検討よろしく願いいたします。」

→<ご提言に対して>

現在は、名前と顔が一致しないよう。名札などは消す加工をしたり、大きな写真に2～3人で正面から写っているような写真は掲載したりしないなどしてホームページを作成しております。また、千早小吹台小学校日誌（ブログ）は写真の大きさを320ピクセルとして、小さなものを使用しています。大きな写真としては、壁紙の写真で使用していますが、現在もいらっしゃる何人かのご希望のお子様の写真はなるべく不自然にならないように加工させていただくか、正面からの写真はなるべく使用しないようにしております。

ご指摘のような不安な方がいらっしゃる一方で、学校での子どもの様子が生き生きとわかるのもっとページを更新してほしい、もっと載せてほしいというご希望もあり、本校のホームページはおおむね評価をいただいている現状です。

ホームページへの掲載については、不都合や不安に思われる方についてお申し出いただき、そのお子さんの写真を加工するという対処にさせていただければと思います。

今後は、これまで以上に気をつけて使用する写真を選ぶとともに、過去のこれまでの写真についてもご指摘いただけましたら加工や写真の入れ替えなどさせていただきます。

●いじめ事件などの学習について

◇「いつもお世話になっています。ある本を読んでいて、あるクラスで先生がいじめの記事を読んで、子供たちと一緒に考えるというものがあり、中学年以上から、もしくは低学年からでもそういう機会をもつのもいいかなと思いました。お忙しい先生方がさらにお忙しくなってほしくはないのですがふと思いました。いつもありがとうございます。」

→<ご提言に対して>

全国でもいじめによる悲惨な事案が後を絶たちません。本校でも毎月の「心と身体とくらしのアンケート」の実施や、日々の子どもの様子から小さなサインも見逃さないよう児童観察を行うことで、いじめの未然防止や早期発見に努めています。また、ある子がつらい思いをする事案が起きたときには、緊急で対応会議をもって、早期に組織として対応できるような体勢をつくっています。また、道徳や人権学習の観点からも計画的にいじめの未然防止や、いじめを許容しない集団づくりにも努めています。子供と一緒にいじめについて考えるというご提案について、校内委員会で検討させていただき、指導の参考にさせていただきます。

●学童クラブについて

「学童と学校は全く関係ないと思うのですが、そしてどんな風に運営されているのかもあまり知らないのです。申し訳ないのですが、放課後、運動場で遊んでいる子どもたちの中には、友だちをからかったり、このままいくといじめに発展してしまうのではないかというようなことが起こっているように思います。その流れ（友達関係）が学校生活と全く無関係だとは思えなくて…。

学童の指導員の方もどこまで把握されているのかもわからないのですが、指導員の方と学校側が連携をとれる関係だといいなあと感じました。いやな思いをしてる子は、もしかしたら誰にも相談できないでいるんじゃないかと心配です。」

→<ご提言に対して>

本村の学童クラブは、ご指摘の通り独立した組織で、独自で運営されていると認識しております。放課後、学童クラブの子供と放課後遊びに来た学童クラブではない子供が混ざって遊んでいるという実態があり、本校ではその線引きが難しいものがあります。たまに起きるケガや、子供同士のトラブルについては、学童から連絡をいただくこともあり、その都度対応しています。

学童ということに限らず、子供がもし、いやな思いをすることがあるならば解決しなければならぬことであると考えます。もしそのような事実を学校が知れば、対応や聴き取りや指導を行っています。ただ、指導員の方も把握されず、子供からの訴えもない場合には、わかりにくい、見えにくいことがあるのは確かです。上記のいじめ対応の通り、日頃から子供の小さな変化を捉え早期に発見できるよう努めるとともに、つらいことは一人で抱え込まずに相談するように指導したいと思います。ご家庭でも何か気がつかれたら、小さなことでも、間違いかもしれないということでも結構ですので、お知らせください。